

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	離散数学第一演習		
英文授業科目名	E x e r c i s e s   i n   D i s c r e t e   M a t h e m a t i c s   I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	尾関 和彦		
居室	西9-603		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ozeki@ice.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
「離散数学第一」の講義内容をより深く理解し、その知識を種々の問題に応用できるようにすることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
「離散数学第一」に同じ。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
(a) 授業内容： 内容は「離散数学第一」と同じであるので、そのシラバスを参照すること。
(b) 授業の進め方： 履修者が自分で演習問題を解き、レポートを提出する。授業中は随時質問に応ずる。レポートは可能な限り採点して返却するので、それを模範解答と照らし

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

合わせて、理解の度合いをチェックし、不十分な個所をより確かなものにする。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

a) 評価方法：

成績評価は、レポートの評点、出席状況、「離散数学第一」の成績等に基づいて行う。

(b) 評価基準：「集合と写像」、「論理」、「数学的帰納法」、「同値関係」、「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

「離散数学第一」の講義を理解し、それを自分のものとして応用できるようになるためには、できるだけ多くの演習問題を解くことが望ましい。また、それにより数学に対する興味も深まる。演習の時間を十分に活用し、基礎力の向上につとめて欲しい。

### 【その他】